

あいち病害虫情報 最新情報

令和 6 年 1 0 月 1 8 日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

向こう 1 か月の気温は高い

名古屋地方気象台10月17日発表の1か月予報によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

果樹カメムシに注意！

果樹カメムシ類について、予察灯における10月（第1半旬から第2半旬）の誘殺数は、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシともに過去10年で最も多い状況です。また、9月下旬に県内11地点22ほ場（カキ）で行った巡回調査において、果樹カメムシ類による被害果率は過去10年間と比較して最も多い状況でした。向こう1か月の気温は高いと予想されているため、カキやカンキツなどの果実への被害が続くおそれがあります。ほ場での発生状況に注意し、10月4日発表の果樹カメムシ類情報第4号を参考に防除しましょう。

露地野菜のチョウ目害虫

10月上旬のキャベツほ場におけるチョウ目害虫の発生量は、コナガは平年並ですが、オオタバコガが多く、ハスモンヨトウ及びシロイチモジヨトウがやや多い状況です。いずれの種もフェロモントラップにおける誘殺数は多く推移しています。また、今後も気温は高いと予想されていることから引き続き注意が必要です。ほ場をよく観察し、発生が確認されたら適宜防除しましょう。

キャベツ、ハクサイなどの細菌性病害に注意

アブラナ科野菜の黒腐病、軟腐病等の細菌性病害は、降水量が多いと発生が増加します。10月上旬に東三河地域で降水量の多い日が続きました。このため、一部のハクサイほ場で細菌性病害である黒斑細菌病の発生が確認されています。

ほ場の状況をよく確認し罹病株を発見したら速やかに除去しましょう。また、今後、悪天候が予想される場合は事前に農薬を散布するとともに、水はけの悪いほ場では排水対策をしましょう。

施設野菜の病害

トマト黄化葉巻病が発生しているほ場があります。タバココナジラミ（トマト黄化葉巻病の病原ウイルスを媒介）やコナジラミ類（トマト黄化病の病原ウイルスを媒介）を施設に入れないように注意するとともに、防除を徹底しましょう。

曇雨天が続く場合は、トマトすすかび病やナスすす斑病などの病害の発生状況に注意しましょう。

イチゴの病害虫

ハダニ類は多発した後では防除が難しくなるので、発生初期に気門封鎖型薬剤や化学合成農薬等を活用し防除しましょう。化学合成農薬を使用する場合は、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。

炭疽病は、気温の高い状況が続くと発生量が多くなります。引き続き発生に注意し、発病株を見つけたら速やかに抜き取り、適切に処分しましょう。

トマトキバガに注意しましょう

トマトキバガによるトマトへの被害が9月に県内で初確認されましたが、その後は他地域のほ場での被害は確認していません。しかし、県内各所のフェロモントラップでは本虫の誘殺が続いています。施設栽培では、まず施設に入れないことが重要です。防除対策等については、令和6年度病害虫発生予察特殊報第2号（9月9日発表）、トマトキバガ情報を参照してください。

ダイズの害虫

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は、長久手市で多く、安城市、西尾市、豊田市でやや多い状況です。また、オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、西尾市で多く、豊田市でやや多い状況となっています。

9月下旬の巡回調査におけるダイズの吸実性カメムシ類の発生量はやや少ない状況でした。しかし、水稻収穫後の水田からミナミアオカメムシがダイズほ場へ移動し、加害する可能性があるため、ほ場での発生状況に注意しましょう。

チョウ目害虫や吸実性カメムシ類の発生が多いほ場では、収穫前日数に注意して防除しましょう。

トビイロウンカの発生に注意（水稻）

トビイロウンカについて、大口町に設置した予察灯で10月に入ってから、連続して誘殺が確認されています（10月1日、10月5日～8日）。これから収穫を迎えるほ場では、ほ場での発生状況に注意し、収穫適期に入ったら速やかに収穫しましょう。

水稻収穫後の秋期耕うんを行いましょう

ニカメイガやヒメトビウンカ（イネ縞葉枯病を媒介）は、水田畦畔の雑草や水稻の刈り株等で越冬します。また、イネ白葉枯病の病原菌は、被害わらや、もみ、イネ科雑草で越冬し、次作の発生源となります。越冬量を減らすため、水稻収穫後の耕うんを始めとする、秋期管理を実施しましょう。詳細は、10月4日発表の「水稻の秋期管理情報第1号（ニカメイガ、イネ白葉枯病、イネ縞葉枯病）」を参考にしてください。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/index.html>）を参照してください。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室

TEL 0561-41-9513 FAX 0561-63-7820